

10/19/33

DIALOG(R)File 347:JAPIO

(c) 2004 JPO & JAPIO. All rts. reserv

04724358 **Image available**

DEVICE FOR ISSUING FIRE INSURANCE FORM BY UTILIZING COMPUTER

PUB. NO.: 06-195358 [JP 6195358 A]

PUBLISHED: July 15, 1994 (19940715)

INVENTOR(s): MASUDA NOBUATSU

APPLICANT(s): TORABERU DATA KK [000000] (A Japanese Company or Corporation)

, JP (Japan)

APPL. NO.: 04-357900 [JP 92357900]

FILED: December 25, 1992 (19921225)

INTL CLASS: [5] G06F-015/22; B41J-005/30

JAPIO CLASS: 45.4 (INFORMATION PROCESSING -- Computer Applications);
29.4

(PRECISION INSTRUMENTS -- Business Machines)

ABSTRACT

PURPOSE: To surely prepare an insurance application form or an insurance contract certificate without fail by considerably improving efficiency and saving labor for preparing the fire insurance forms in real estate business.

CONSTITUTION: This device is provided with a real estate information storage part 2 for storing real estate article information such as empty rooms, insurance information storage part 3 for storing the format of the fire insurance form such as the application form of the fire insurance, control part 4 with a built-in processing program to define information such as the address of the real estate article or data such as the address of a real estate purchasing person or a barrowing person as insurance information from the real estate information called from the real estate information storage part by writing them in a memory area corresponding to the information such as the target address of the fire insurance of the format of the fire insurance form or the address of an insurance contract person stored in the insurance information storage part 3, set information storage part 5 for storing information required for setting the fire insurance contract such as insurance contract regulations, calculation part

EB
282

6 for calculating insurance expense, printer 7, and CRT display part 8.

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-195358

(43)公開日 平成6年(1994)7月15日

(51)Int.Cl.⁵

G 0 6 F 15/22

B 4 1 J 5/30

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

8724-5L

B 8703-2C

審査請求 有 請求項の数1(全 4 頁)

(21)出願番号 特願平4-357900

(22)出願日 平成4年(1992)12月25日

(71)出願人 592262325

株式会社トラベルデータ

東京都渋谷区南平台町4番8号

(72)発明者 増田 順厚

東京都渋谷区南平台町4番8号 株式会社

トラベルデータ内

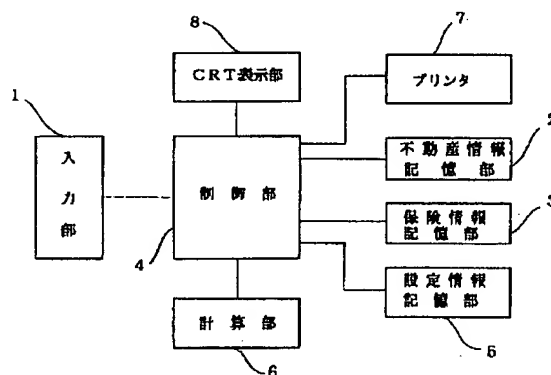
(74)代理人 弁理士 西垣 康雄

(54)【発明の名称】 コンピュータを利用した火災保険書類の発行装置

(57)【要約】 (修正有)

【構成】空室等の不動産物件情報を記憶する不動産情報記憶部2と、火災保険の申込書等の火災保険書類のフォーマットを記憶する保険情報記憶部3と、不動産情報記憶部から呼び出した不動産情報から、不動産物件の所在地等の情報および不動産購入者や賃貸者の住所等のデータを、保険情報記憶部に記憶された火災保険書類のフォーマットの火災保険の目的の所在地等の情報および保険契約者の住所等に対応するメモリ領域に書き込んで保険情報とする処理プログラムを内蔵する制御部4と、保険契約規定等の火災保険契約の設定に必要な情報が記憶されている設定情報記憶部5と、保険料の計算を行なう計算部6と、プリンタと、CRT表示部8とを備える。

【効果】不動産業における火災保険書類の作成作業の飛躍的な効率化、省力化を図り、間違いのない保険申込書や保険契約証を確実に作成できる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 コンピュータを利用した不動産物件検索システムにおける空室や空家等の不動産物件情報を記憶する不動産情報記憶部と、火災保険の申込書や契約証等の火災保険書類のフォーマットを記憶する保険情報記憶部と、前記不動産情報記憶部から呼び出した不動産情報から、不動産物件の所在地、その面積、建物構造、内部造作設備等の情報および不動産購入者や賃貸者の住所、氏名、電話番号のごときデータを、前記保険情報記憶部に記憶された火災保険書類のフォーマットの火災保険の目的の所在地、保険の目的の面積、保険の目的の構造、保険の目的の内部造作設備等の情報および保険契約者の住所、氏名、電話番号等に対応するメモリ領域に書き込んで保険情報とする処理プログラムを内蔵する制御部と、保険契約規定や保険料率などの火災保険契約の設定に必要な情報が記憶されている設定情報記憶部と、保険料の計算を行なう計算部と、プリンタと、CRT表示部とを備え、よって、火災保険の申込みを受けて予め定められた操作入力をなすと、前記制御部は、不動産情報記憶部から呼び出した該当物件の不動産情報を保険情報に置き換えると共に、前記設定情報記憶部から計算に必要な情報を読み出し、対象となる不動産物件の所在地、建物構造等により適切な保険料率を、また不動産物件の所在地、その面積、建物構造、内部造作設備等により保険金額をそれぞれ決定して前記計算部に送り、該計算部において保険料が計算された後、これらの計算された保険料そして保険情報から選択されたデータを火災保険申込書用紙あるいは火災保険契約証用紙に印刷されるようになったことを特徴とするコンピュータを利用した火災保険書類発行装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 この発明は、不動産業者が使用するコンピュータを利用した不動産物件検索システムを利用して火災保険の申込書や契約証などの火災保険書類を作成する、コンピュータを利用した火災保険書類発行装置に関するものである。

【従来の技術】

【0002】 従前から、不動産業者が、不動産の仲介業務を行なう際、必要となる諸事項、すなわち、顧客の住所、氏名、電話番号および不動産物件の所在地、その面積、建物構造、内部造作設備等の情報を管理する不動産物件検索システムは知られている。また、不動産業者の多くが、不動産業務と密接な関係にある火災保険を取り扱うために保険代理店を兼ね、火災保険の申込書や契約証の発行業務を日常的に行なっている。しかしながら、不動産業者に利用されている既存の不動産物件の検索システムは、いずれも処理の対象が不動産業務に限られ、保険業務は対象外となっているため、コンピュータに記憶されている上記のデータが、火災保険申込書あるいは

契約証の作成に使用されるデータとほぼ同一であるのかかわらず、現実には、そうした保険申込書や保険契約証の作成に当っては、同じデータを手書きにより転記したり、あるいは別の保険用コンピュータに再入力することにより行っており、したがって、事務が繁雑となり、転記ミスや入力ミスが頻繁に発生していたものである。しかも、不動産業者にとって、火災保険の申込書や契約証の発行のために、各種の難しい契約規定を覚えたり、保険料算出のための複雑な計算を間違いなく行なうことは、ベテランでも神経を使う作業となっていたものである。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 本発明は、不動産物件検索システムに記憶された諸情報を、火災保険申込書や火災保険契約書を作成する火災保険書類発行装置に転送させることにより、不動産における保険事務の効率化、省力化を図るとともに、記載事項に間違いのない保険申込書や保険契約証を確実に作成できる、コンピュータを利用した火災保険書類の発行装置を提供することをその目的とするものである。

【0004】

【問題を解決するための手段】 上記目的を達成するために、本発明に係るコンピュータを利用した火災保険書類の発行装置は、コンピュータを利用した不動産物件検索システムにおける空室や空家等の不動産物件情報を記憶する不動産情報記憶部と、火災保険の申込書や契約証等の火災保険書類のフォーマットを記憶する保険情報記憶部と、前記不動産情報記憶部から呼び出した不動産情報から、不動産物件の所在地、その面積、建物構造、内部造作設備等の情報および不動産購入者や賃貸者の住所、氏名、電話番号のごときデータを、前記保険情報記憶部に記憶された火災保険書類のフォーマットの火災保険の目的の所在地、保険の目的の面積、保険の目的の構造、保険の目的の内部造作設備等の情報および保険契約者の住所、氏名、電話番号等に対応するメモリ領域に書き込んで保険情報とする処理プログラムを内蔵する制御部と、保険契約規定や保険料率などの火災保険契約の設定に必要な情報が記憶されている設定情報記憶部と、保険料の計算を行なう計算部と、プリンタと、CRT表示部とを備え、よって、火災保険の申込みを受けて予め定められた操作入力をなすと、前記制御部は、不動産情報記憶部から呼び出した該当物件の不動産情報を保険情報に置き換えると共に、前記設定情報記憶部から計算に必要な情報を読み出し、対象となる不動産物件の所在地、建物構造等により適切な保険料率を、また不動産物件の所在地、その面積、建物構造、内部造作設備等により保険金額をそれぞれ決定して前記計算部に送り、該計算部において保険料が計算された後、これらの計算された保険料そして保険情報から選択されたデータを火災保険申込書用紙あるいは火災保険契約証用紙に印刷されるように

なしたことを特徴とするコンピュータを利用したものである。

【0005】

【作用】保険の申込みを受けて、予め定められた操作入力をする、制御部は、前記不動産情報記憶部から呼び出した該当物件の所在地、その面積、建物構造、内部造作設備等の情報および不動産購入者や賃貸者の住所、氏名、電話番号のごときデータを、前記保険情報記憶部に記憶された火災保険書類のフォーマットの火災保険の目的の所在地、保険の目的の面積、保険の目的の内部造作設備等の情報および保険契約者の住所、氏名、電話番号等のメモリ領域に書き込んで保険情報とするとともに、前記設定情報記憶部から計算に必要な情報を読み出し、対象となる不動産物件の所在地、その面積、建物構造等により適切な保険料率を、また不動産物件の所在地、その面積、建物構造、内部造作設備等により保険金額をそれぞれ決定して決定して前記計算部に送り、該計算部において保険料を計算させる。しかる後、これらの保険情報および計算した保険料をCRT画面に表示させ、画面上で必要なデータを選択した後、プリンタを動作させれば、火災保険申込書用紙に印刷され、これにより保険申込書が作成されることとなる。次いで、この作成された保険申込書を保険申込人に提示し、署名捺印をうければ正式な保険申込書となる。また、火災保険契約証を発行する場合は、上記データ、保険金額等をCRT画面に表示させ、確認した後、プリンタを動作させれば、火災保険契約証用紙に印刷され、これにより保険契約証が作成されることとなる。

【0006】

【実施例】以下、本発明に係るコンピュータを利用したコンピュータを利用した火災保険書類の発行装置について、添付図面に示した実施の一例に従って説明する。図1は本発明の基本構成を示す概略ブロック図であり、1は入力部、2は不動産物件検索システムにおける空室や空家等の不動産物件情報を記憶する不動産情報記憶部3は火災保険の申込書や契約証などの火災保険書類のフォーマットを記憶する保険情報記憶部、4は前記不動産情報記憶部から呼び出した不動産情報から、不動産物件の所在地、その面積、建物構造、内部造作設備等の情報および不動産購入者や賃貸者の住所、氏名、電話番号のごときデータを、前記保険情報記憶部に記憶された火災保険書類のフォーマットの火災保険の目的の所在地、保険の目的の面積、保険の目的の構造、保険の目的の内部造作設備等の情報および保険契約者の住所、氏名、電話番号等に対応するメモリ領域に書き込んで保険情報とする処理プログラムを内蔵する制御部、5は保険契約規定や保険料率などの火災保険契約の設定に必要な情報が記憶

されている設定情報記憶部、6は保険料の計算を行なう計算部、7はプリンタ、そして8はCRT表示部である。図2は、不動産情報記憶部に記憶される不動産情報と、保険情報記憶部に記憶される火災保険書類のフォーマットとの対応関係を示す説明図であり、この実施例では、不動産物件の所在地、その面積、建物構造、内部造作設備等の情報および不動産購入者や賃貸者の住所、氏名、電話番号が、火災保険の目的の所在地、保険の目的の面積、保険の目的の構造、保険の目的の内部造作設備等の情報、および保険契約者の住所、氏名、電話番号に対応するメモリ領域にそれぞれ書き込まれることになる。尚、上記実施例においては、一つのコンピュータで不動産の管理と火災保険の発券を処理するようにしたが、不動産業用のコンピュータと火災保険の発券用のコンピュータを別々にし、不動産業用のコンピュータに記憶された不動産情報を火災保険契約証発券用のコンピュータに転送して処理するようにしてもよい。また、この実施例においては省略したが、発行された火災保険申込書あるいは火災保険契約証に関するデータを、コンピュータのメモリに記録したり、あるいは通信回線を介して他の場所へ送信したりしてもよいことは勿論である。

【0007】

【発明の効果】以上に述べたように、本発明に係るコンピュータを利用した火災保険の申込書や契約証などの火災保険書類を作成する、コンピュータを利用した火災保険書類発行装置によれば、不動産物件検索システムに用いられる各種データを転用して火災保険申込書や火災保険契約証を作成するようにしたから、不動産業における火災保険書類の作成作業の飛躍的な効率化、省力化が図り得る上に、記載事項に間違いのない保険申込書や保険契約証を確実に提供できる顕著な効果が得られるものである。

【図面の簡単な説明】

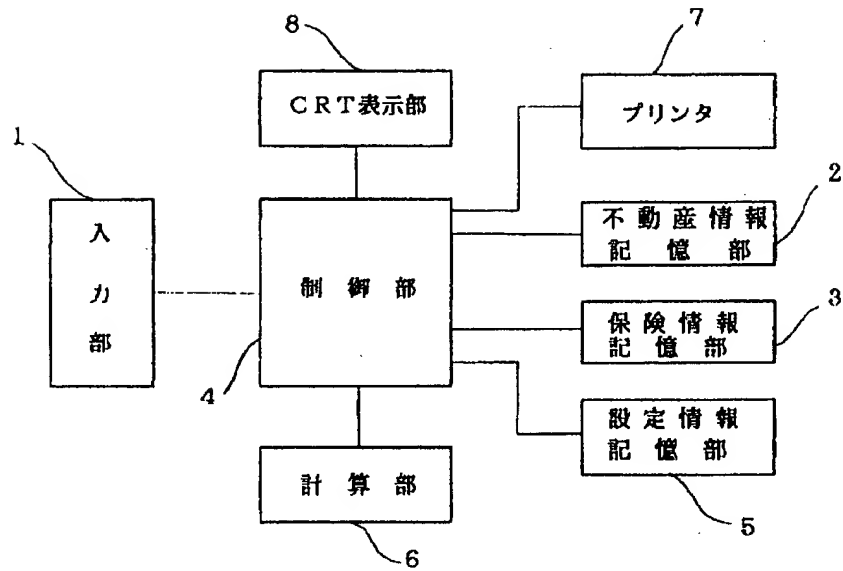
【図1】図1は本発明の基本構成を示す概略ブロック図である

【図2】不動産情報記憶部に記憶される不動産情報と、保険情報記憶部に記憶される火災保険書類のフォーマットとの対応関係を示す説明図である。

【符号の説明】

- 1 入力部
- 2 不動産情報記憶部
- 3 保険情報記憶部
- 4 制御部
- 5 設定情報記憶部
- 6 計算部
- 7 プリンタ
- 8 CRT表示部

【図1】



【図2】

